

科 目 名		学年	
日本語表現 : Communication in Japanese		1PDK	
教 員 名 薄井信治 : USUI Shinji			
単位	授業時間	科目区分	
2	100分×15回	必修	
授業形態			
講義・前期			
授業概要			
実用的な文章の書き方を理論的に説明し、理解させる。アウトラインを作成することで、論理的な記述方式を理解させる。			
到達目標		評価方法	
(1)文と文章の構造を理解できる		定期試験・プリントによる	
(2)アウトラインを作成できる		提出状況による	
(3)アウトラインをもとに口頭発表し、討議できる		発表及びレポートによる	
(3)アウトラインをもとに小論文を作成できる		小論文による	
学習・教育目標		(f)	
G①		JABEE基準1(1)	
回	項 目	内 容	
授 業 計 画	第1	ガイダンス わかりやすい表現	授業の進め方を理解する。 表現をわかりやすくするには、どうすればよいかを理解する。
	第2	パラグラフとトピックセンテンス	文章の最小単位であるパラグラフを中心にわかりやすい表現にする方法の理解を深める。
	第3	構文図と文	文を構成する言葉のつながりをわかりやすいものにする方法を理解する。
	第4	パラレリズム	パラレリズムの重要性を理解し、活用する。
	第5	アウトラインの作り方	イシューツリーとロジックツリーについて理解する。
	第6	ロジックツリーの作成と発表	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第7	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第8	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第9	ロジックツリーの作成と発表	小論文②のアウトラインをロジックツリーで作成し、口頭発表し、討議する。
	第10	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第11	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第12	ロジックツリーの作成と発表	小論文③のアウトラインをロジックツリーで作成し、口頭発表し、討議する。
	第13	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第14	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小論文を作成する。
	第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業評価アンケートを行う。
自学自習の内容		課題プリント及びアウトラインを提出する	
関連科目		国語IV	
教科書			
参考書			
授業評価・理解度		最終回に授業アンケートを行う	
副担当教員			
備考			